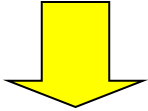


飼料米（粳米）活用による若狹牛づくり(平成23～24年度)

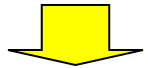
〔現状〕

○「園芸・畜産の元気回復プロジェクト」において “飼料米の生産活用を推進” している

○若狹牛に飼料米(玄米)を給与する試験で、トウモロコシの代替えとしての有効性を立証した



○若狹牛に調整保管が容易な粳米を給与している肥育農家がない



〔課題〕

◎肥育農家が安心して若狹牛に粳米を給与する技術開発が必要である

○粳米給与時の反すう行動

第1胃の正常性や生理的な影響が不明

○粳米給与設計技術のための基礎データがない

○粳米利用による牛のミネラル代謝への影響がわからない

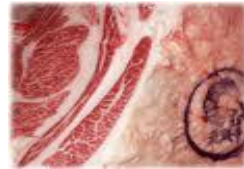
○粳米給与による牛肉の旨味や食味への影響がわからない

〔研究内容〕

飼料米（粳米）活用による若狹牛肥育技術を確立する

1 飼料米（粳米）飼料給与技術の検討

- ・採食生、発育性、出荷牛の肉量肉質を比較分析
- ・肥育牛の粳米の嗜好性採食や反すうの行動
- ・第1胃性状への影響把握



- ・粳米給与によるミネラル代謝異常などの疾病発生要因の解明

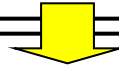
2 牛肉の旨味成分および食味の向上効果の検証

- ・粳米給与による生産牛肉の旨味成分の検証
- ・食味の向上効果の検証

〔研究目標〕

○採食・反すう行動の調査結果から肉牛の代謝生理を推測

○飼料コスト約1割減
若狹牛1頭あたりの飼料代
・濃厚飼料を粳米で代替
粗飼料給与の効果
・稲ワラ給与量の削減



〔期待される効果〕

○低コスト若狹牛肥育技術確立

○粳米で育った若狹牛の生産

○粳米の粳すり作業の削減、保存性の向上、流通の簡略化

